

# 令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 大気環境課  
 担当名: 総務・自動車対策担当  
 内線: 3064 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B8	自動車対策事業費			一般会計	総務費	環境費	公害対策費	青空再生推進費			
事業期間	平成13年度～	根拠法令	生活環境保全条例 策推進条例	自動車NOx・PM法、埼玉県地球温暖化対	針路	10	豊かな自然と共生する社会の実現	SDGsゴール	7, 11, 13		
					分野施策	1007	公害のない安全な地域環境の確保	SDGsターゲット	7-a, 11-6, 13-1, 1		
1 事業概要				5 事業説明							
自動車排出ガスに由来する大気汚染及び地球温暖化を防止するため、九都県市共同での取組や条例に基づく有害物質及び二酸化炭素の削減や電動車の普及など、総合的な自動車対策を推進することを目的とする。  ア 自動車公害監察運営費 △1,568千円 イ 監視指導事業費 △260千円				(1) 事業内容 ア 九都県市広域自動車対策 2,041千円 イ 自動車の電動化等による地球温暖化対策 500千円 ウ 自動車公害監察運営費 17,970千円 → 16,314千円 エ 監視指導事業費 2,732千円 → 2,560千円  (2) 事業計画 ア 九都県市広域自動車対策 大気環境改善を図る調査・検討を行うとともに、エコドライブや指定低公害車の普及啓発を実施する。 イ 自動車の電動化等による地球温暖化対策 埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく温暖化対策を実施するとともに、電動車の普及を促進する。 ウ 自動車公害監察システムの維持管理等 自動車公害監察システムのデータベース移行、Edge化対応、及び維持管理 エ ビデオ調査委託 県内の幹線道路や県境周辺の道路上を走行しているディーゼル車両のナンバープレートを撮影することによりディーゼル車の運行を確認し、不適合車両の運行規制に係る指導の端緒とする。  (3) 事業効果 ア 条例による二酸化炭素削減 平成21年度: 0トン → 令和3年度: 350,000トン(目標) イ 次期5か年計画(令和4～8年度)の電動車(乗用車新車)の割合 令和元年: 39.9% → 令和8年: 56.0%(目標)  (4) 補正予算の概要 ア 契約差金による減額 △1,568千円 イ 経費節減による減額 △260千円							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費(細目)環境保全対策費(細節)環境保全対策費(積算内容)環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.1人=29,450千円											
予算額				財源内訳				一般財源	補正後の 予算額		
決定額	△1,828						△1,828	21,415			
現計額	23,243						23,243				

## 事業内訳書

事業名	自動車対策事業費		
単位事業名	自動車公害監察運営費	予算額	△ 1,656千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△88	—	経費節減による減
委託料	△1,568	—	契約差金発生に伴う減
合計	△1,656	—	

単位事業名	監視指導事業	予算額	△ 172千円
-------	--------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△18	—	経費節減による減
役務費	△154	—	経費節減による減
合計	△172	—	